

第二種奨学金（海外）【大学】の概要

海外の大学へ進学し、奨学金の貸与を希望する方へ

独立行政法人日本学生支援機構

学位取得を目的として海外の大学に進学予定の人、及び現在海外の大学に在学している人を対象とする奨学金制度です。予約採用（進学前に募集する採用方式）と在学採用（進学後に募集する採用方式）の2つの申込方法があります。

第二種奨学金（海外）は貸与奨学金（借りるもの）です。奨学金を申し込み、貸与を受けるあなた本人に返還義務があります。

●奨学金の種類

第二種奨学金（利子付き。在学中は無利子）

★利率の算定方法は「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択します。

●貸与月額

2万円～12万円の中から1万円単位で貸与月額を選択します。

●入学時特別増額貸与奨学金

入学時に必要な資金として、月額とは別に増額貸与を申し込むことが可能です。

★選択した貸与月額の初回振込時に併せて振り込まれます（入学前には振り込まれません）。

★10万円・20万円・30万円・40万円・50万円の中から希望の額を選択します。

●保証制度

次の①、②の両方の保証制度への加入が必須です。

①機関保証制度・・保証機関の連帯保証を受ける制度です。

★本機構が毎月の奨学金から保証料を差し引き、保証機関に支払います。

②人的保証制度・・連帯保証人及び保証人を選任する制度です。

●奨学金の返還

奨学金の貸与終了の翌月から数えて7か月目に返還が始まります。

予約採用について

1. 申込資格

海外の大学へ進学（入学又は編入学）を希望している人で、下表のいずれかに該当し、在学学校又は卒業校の長から推薦を受け、経済的理由により修学に困難があると認められる人。

申込資格（いずれかに該当する必要あり）	進学時期・進学先	申込先
（1）国内の学校（※1）を卒業予定又は卒業後3年以内の人	申込みの翌年度に、海外の大学の正規課程に入学（編入学）が見込まれる人	在学学校 又は卒業校
（2）高等学校卒業程度認定試験の合格者、科目合格者、出願者		本機構
（3）国内の高等専門学校第3学年修了見込 又は第3学年修了後5年以内の人		

（※1）国内の学校とは、高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）、専修学校（高等課程）、専修学校（専門課程）、高等専門学校、短期大学、大学をいいます。

（※2）国内の学校を退学予定で海外の大学に入学（編入学）を希望している場合は、申込資格について在学学校に確認してください。

2. 申込方法

前記の「1. 申込資格」(1)に該当する人は、国内の学校を通じて申込みを行います。学校の奨学金窓口にお問い合わせください。

申込資格(2)又は(3)に該当する人は、直接本機構へ申し込みます。

申込資格(1)～(3)のいずれにも該当しない人は、予約採用の申込みはできませんが、在学採用で申し込める場合があります。

3. 採用候補者の決定から採用まで

(1) 国内の学校からの推薦を受けて、本機構で選考を行います。

採用候補者に決定した人には、国内の学校を通じて「採用候補者決定通知」や、進学後の手続きに必要な書類を交付します。

(2) 海外の大学の正規課程進学後、「進学届」、「在籍証明書」、「履修証明書」、「入学許可書」等の必要書類を機構に提出します。機構は提出書類を審査の上、採用の可否を決定します。

※採用決定後に奨学金の振込みが開始されます。進学前に奨学金が振り込まれることはありません。

(3) 採用後、期限までに「返還誓約書」及び「保証依頼書」を機構の指定する提出先に送付します。

在学採用について

1. 申込資格

海外の大学の正規課程に在学している人で、在学校の指導教員等から推薦を受け、経済的理由により修学に困難があると認められる人。

2. 募集時期・申込方法

(1) 毎年5月～12月まで毎月申込み受付(毎月10日締切)

(2) 機構ホームページから申込書類の請求を行い、必要書類(在籍証明書、成績証明書、推薦書等)を調べて、機構に送付(郵送)します。

※申込書類の請求は進学前に行うことも可能ですが、奨学金の申込みを行うことができるのは、進学後(正規課程の授業開始後)のみです。

3. 採用

(1) 機構は提出書類を審査の上、採用の可否を決定します。

※採用決定後(申込月の2か月後)に奨学金の振込みが開始されます。

ただし、提出書類に不備等があった場合は、採用月(奨学金の振込開始月)が遅れる場合があります。

(2) 採用後、期限までに「返還誓約書」及び「保証依頼書」を機構の指定する提出先に送付します。

申込方法等の詳細については、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

予約採用について

ホーム>奨学金>申込方法>海外留学の奨学金>第二種奨学金(海外)>第二種奨学金(海外) 予約採用

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/gaiyou.html

在学採用について

ホーム>奨学金>申込方法>海外留学の奨学金>第二種奨学金(海外)>第二種奨学金(海外) 在学採用

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/kaigai/2shu_kaigai/zaigaku.html

申込書(紙)による申込み・推薦

2022年度海外大学進学予定者対象 第二種奨学金（海外）申込みに係る提出書類一覧

以下の書類を 学校が指定する期限までに 提出してください。

	書類	提出が必要な人	「貸与奨学金案内」 の説明ページ
(1)	「申込みに係る重要事項確認」	申込者全員	スカラネット入力 に代えて、記入し ます。
(2)	「申込書」[海外大学用]（記入例付き）		
(3)	「奨学金振込口座届」		
(4)	【様式A】提出書類一覧表		44 ページ
(5)	【様式B】確認書		25～26 ページ
(6)	【様式C】留学計画書		27～28 ページ
(7)	学校資料（申込者作成の日本語訳添付）		29 ページ
(8)	【様式D】家計状況申告書		31 ページ
(9)	収入に関する証明書類		32～37 ページ
(10)	在留資格・在留期限に関する証明書類	外国籍の人	5 ページ
(11)	母子・父子世帯であることが確認できる証明書類 （住民票又は戸籍抄本）	特別控除の条件 に該当し、控除 を希望する人	38 ページ
(12)	障がいのある方がいる世帯であることが確認できる証明書 類（障害者手帳のコピー等）		38 ページ
(13)	【様式J】単身赴任実費計算書 生計維持者が単身赴任していることが確認できる証明書類		38、40 ページ
(14)	【様式K】長期療養費計算書 長期に療養を必要とする人がいる世帯であることが確認で きる証明書類（領収書等）		39、41 ページ
(15)	災害等により長期にわたり収入減（支出増）となった世帯 の場合の証明書（罹災証明書、領収書等）		39 ページ

※ スカラネット（インターネット）入力による申込手続きは必要ありません。

「貸与奨学金案内」はインターネットを通じて申込手続きを行う人を想定して作成しています。そのため「貸与奨学金案内」の中にある「スカラネット」の記述については、「申込書」に適宜読み替えてください。

また、「様式集」の間に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙」は使用しません。

第二種奨学金(海外)申込みに係る重要事項確認

奨学金の申込みにあたって、以下の事項を全て確認し、理解している場合は「はい」に ☒ を記入してください。

全ての項目にチェックが入っていない場合、奨学金の申請を受け付けることができません。

記入日 (西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

在籍(出身)学校名 _____ 申込者氏名 _____

貸与奨学金における確認事項	はい (理解している)
① 在学中の学業成績や家計状況が基準を満たさない場合、奨学金が受けられなくなることがあります。	☐
② 奨学金貸与中に様々な届出や報告などを求めることがあります。必要な手続きを行わない場合、奨学金の振込が遅れたり、止まったりする可能性があります。	☐
③ 貸与奨学金はあなた本人に返還の義務があり、締め切り日までに返還誓約書を提出しなければなりません。提出しない場合、採用が取り消されます。 また、借りる金額が大きいと返す時の負担も大きくなります。貸与金額は、月々必要となる金額をよく考えて選ぶ必要があります。	☐
奨学金の返還を延滞すると、延滞金が課されます。延滞が長くなると法的措置等が行われることがあります。 ④ また、奨学金の返還が困難になった場合は、願い出により、毎月の返還額を1／2もしくは1／3に減額し返還期間を延長する「減額返還制度」や、一定期間返還期限を先延ばしする「返還期限猶予制度」を利用できる場合があります。	☐

第二種奨学金（海外）奨学金振込口座届

氏 名 (漢字)	
-------------	--

いずれか片方を選んでご記入ください

ゆうちょ銀行以外の金融機関（普通預金口座に限る）							
金融機関名（カタカナ）			該当の金融機関に○		店名（カタカナ）		該当の数字に○
			銀 行 労働金庫 信用金庫 信用組合				1 支 店 2 出 張 所
金融機関番号		店 番 号	預金種目	口座番号(右づめで記入してください)		口座名義人（奨学生本人名義に限る）	
			1普通 (総合)			フリガナ	氏 名
						氏名	

ゆうちょ銀行（通常貯金口座に限る）							
記号		番号（右づめで記入してください）			口座名義人（奨学生本人名義に限る）		
					フリガナ	氏 名	名
1 0		1			氏名		

※ ゆうちょ銀行の「記号」「番号」は、通帳の見開きの最初のページ（表紙裏面）に記載されています。
※ ゆうちょ銀行の「番号」は右詰めで記入し、8桁に満たない場合は、頭に「0」をつけてください。

注意

- ◎ 取扱いが可能な金融機関は、日本国内の銀行（ゆうちょ銀行を含む、信用金庫、労働金庫、信用組合（一部を除く））に限られています。
外国銀行、インターネット専業銀行（楽天銀行、住信SBIネット銀行、ソニー銀行、ジャパンネット銀行、じぶん銀行等）、農協、信託銀行、その他一部の銀行（新生銀行、あおぞら銀行、セブン銀行、イオン銀行等）は利用できませんのでご注意ください。また、普通預金口座または通常貯金口座のみ使用可能で、貯蓄預金口座は使用できません。
- ◎ 「三菱UFJ銀行」以外の英字名称の金融機関は英字部分をカタカナで記入してください。
- ◎ 濁点、半濁点は1字とします。
- ◎ 本店に口座を設けた場合は「ホンテン」と記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

2022 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学進学予定者用〕記入要領

※ 申込書は必ず申込者本人が記入してください。

表面

「親権者（未成年後見人）」欄

記入日において本人が未成年者（20 歳未満）の場合は、親権者がそれぞれの欄に署名してください。※ 同一筆跡による作成は認められません。

「海外入学予定学校」欄

【様式C】「留学計画書」の「1. 入学予定学校」に記入した内容に合わせ、奨学金の貸与を開始する学校を記入してください。

「学部・学科」欄は、中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入してください。

「連帯保証人」、「保証人」欄

連帯保証人及び保証人は、「貸与奨学金案内」（8～9 ページ）の選任条件をよく読み、条件に合致する人を選任してください。依頼する人によく説明して承諾を得たうえで、申込者本人が全ての項目にもれなく記入してください（連帯保証人、保証人自身が記入する必要はありません）。

裏面

「就学者を除く家族」欄

父母、就学前の弟妹、祖父母等、就学者に該当しない同一生計の家族を全員記入してください。父母については、【様式D】「家計状況申告書」に記入した生計維持者の収入金額、所得金額の合計を、それぞれ「収入金額」欄、「所得金額」欄に記入してください。※本欄を記入する前に、【様式D】「家計状況申告書」を作成する必要があります。

「就学者」欄

本人以外の就学者を全員記入してください。就学者に該当するのは次の学校に在学している人です。

小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程、専門課程）、短期大学、大学、大学院

※以下は就学者に該当しません。

×科目履修生、×聴講生、×研究生、×一般課程の専修学校生、×各種学校生（予備校、職業訓練校）

「世帯人数」欄

本人を含む同一生計の家族の人数を記入してください。

「就学者人数」欄

本人を含む就学者人数を記入してください。

「特別控除額」欄

「イ」～「カ」で該当するものがあれば、控除額を記入してください。

※「イ」に該当する場合は、母子・父子家庭であることが確認できる証明書（住民票、戸籍抄本等）の提出が必要です。

※「ウ」～「カ」については証明書類の添付が必要です（「貸与奨学金案内」38～41 ページを参照してください）。

※「エ」「オ」「カ」については、その実費を記入してください。

訂正方法

記入を間違えた場合は、訂正箇所には二重線を引き、余白に記入し直してください。

2022年度 第二種奨学金(海外) 予約 申込書 [海外大学進学予定者用]

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。(親権者欄は親権者本人が記入してください。)

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿				(西暦) 年 月 日			
私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確認します。なお、下記の記載事項に相違ありません。							
申込資格※		① 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程) 卒業(見込)者 ② 高卒認定合格者等 ③ 高専3年次修了(見込)者					
本人	氏名	フリガナ		性別(任意)※		① 男 ② 女	
		(申込者本人自署)		生年月日		(西暦) 年 月 日	
	住所	〒 —			TEL		— —
(国内住民票(除票)住所)				外国籍の方は在留資格			
本人が未成年者(20歳未満)の場合は、親権者がそれぞれ署名してください。親権者とは民法に定められた親権者のことです。通常は両親(いずれかの方がいないときは一人)です。なお、後見人がいる場合には後見人の方が署名してください。							
親権者	(未成年後見人)	氏名		住所 〒 —			
		(自署)		TEL — —			
	(成年後見人)	氏名		住所 〒 —			
		(自署)		TEL — —			
国内在学(出身)学校 (高卒認定合格者等は記入不要)							
学校名				学部・学科			
学種等※	① 大学 ② 短期大学 ③ 専修学校(専門課程) ④ 高等専門学校 ⑤ 高等専門学校3年次			卒業(修了)年月※	(西暦) 年 月		
				① 卒業(修了) ② 卒業(修了)見込 ③ 退学見込			
高卒認定合格者等のみ記入※							
① 合格: 年 月 ② 科目合格: 年 月 ③ 出願済: 年 月							
海外入学(編入)予定学校							
学校名(日本語名)				学校名(英語名)			
学部・学科(英語名)			国・地域名			入学形態※	① 入学(1年次) ② 2年次編入 ③ 3年次編入 ④ 4年次編入
奨 学 金 申 込 情 報 ※							
希望貸与月額		① 2万円 ② 3万円 ③ 4万円 ④ 5万円 ⑤ 6万円 ⑥ 7万円 ⑦ 8万円 ⑧ 9万円 ⑨ 10万円 ⑩ 11万円 ⑪ 12万円					
入学時特別増額貸与奨学金を		※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。 ① 希望する (10万円 ・ 20万円 ・ 30万円 ・ 40万円 ・ 50万円) ② 希望しない					
利率の算定方法は		① 利率固定方式 ② 利率見直し方式					
履歴情報 (これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)							
奨学生番号		①			②		
連帯保証人	氏名	フリガナ		続柄		生年月日	
		()		(西暦) 年 月 日			
	住所	〒 —		電話番号(自宅)		() □なし	
				携帯電話番号		() □なし	
勤務先	□ 無職			勤務先電話番号			
保証人	氏名	フリガナ		続柄		生年月日	
		()		(西暦) 年 月 日			
	住所	〒 —		電話番号(自宅)		() □なし	
				携帯電話番号		() □なし	
勤務先	□ 無職			勤務先電話番号			

(注)必ず裏面も記入してください。

「同一生計の家族」欄を記入する前に、【様式D】「家計状況申告書」を作成してください。

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

同一生計の家族	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額			所得金額		
					給与・ <u>自営</u> ・ <u>その他</u>			万円			万円
					給与・ <u>自営</u> ・ <u>その他</u>			万円			万円
					給与・ <u>自営</u> ・ <u>その他</u>			万円			万円
					給与・ <u>自営</u> ・ <u>その他</u>			万円			万円
	就学者（本人を除く）	続柄	氏名	設置者 ※	就学先学校の種類 ※				通学別 ※		
				国 公 ・私 立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・ <u>専修(高等)</u> ・ <u>専修(専門)</u> ・ <u>大学</u>					自 宅 ・自 宅 外	
				国 公 ・私 立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・ <u>専修(高等)</u> ・ <u>専修(専門)</u> ・ <u>大学</u>					自 宅 ・自 宅 外	
				国 公 ・私 立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・ <u>専修(高等)</u> ・ <u>専修(専門)</u> ・ <u>大学</u>					自 宅 ・自 宅 外	
				国 公 ・私 立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・ <u>専修(高等)</u> ・ <u>専修(専門)</u> ・ <u>大学</u>					自 宅 ・自 宅 外	
世帯人数 (本人含む) _____人		就学者人数 (本人・就学前の弟妹含む) _____人									
特別控除額	ア. 本人の就学者控除					(一律74万円)			74 万円		
	イ. 母子・父子世帯					(一律99万円)			万円		
	ウ. 障がい者のいる世帯					(一人につき99万円)			万円		
	エ. 生計維持者が別居している世帯					(71万円限度、実費)			万円		
	オ. 長期療養者のいる世帯					(実費)			万円		
	カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯					(実費)			万円		
家庭事情	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。生計維持者を「父又は母のいずれか1人」、「申込者本人1人(独立生計)」又は、「父母、申込者本人以外の1人」としている場合は、その事情を詳しく説明してください。										

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

学校記入欄 * 高卒認定合格者等、高専3年次修了(見込)者の場合、本欄の記入は不要です。

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

成績 ※	第二種奨学金の学力基準に 該当する ・ 該当しない
推薦所見	(特記すべきことがあれば記入してください)

この学生は、貴機構の奨学生として人物、学力が推薦基準に合致していることを認め、推薦します。

(西暦) 年 月 日

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

学 校 名 _____

学 校 長 名 _____

(※押印不要)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

記入例

親権者欄（表面）と学校記入欄（裏面）以外は、すべて申込者本人が記入してください。

2022年度 第二種奨学金(海外) 予約 申込書 [海外大学進学予定者用]

同一の住所を記入。

※ 右上の記入日において、本人が未成年の場合は記入。同一筆跡・同一印不可。

「印鑑登録証明書」で登録している住所を記入。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 認

(西暦) 2021 年 8 月 1 日

該当するいずれかの申込資格を選択。

私は、学位の取得を目的として留学するに必要と認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。

申込資格※

① 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程) 卒業(見込)者

② 高卒認定合格者等

③ 高専3年次修了(見込)者

本人

氏名

フリガナ ショウガク マサル

性別(任意)※

① 男

② 女

生年月日

(西暦) 2002 年 4 月 25 日

TEL

03 - 0000 - 0000

住所

〒 162 - 0845

外国籍の方は在留資格

(国内住民票(除票)住所)

東京都新宿区市谷本村町10-7

親権者

(未成年後見人)

氏名

ショウガク マサル

住所

〒 162 - 0845

東京都新宿区市谷本村町10-7

(自署)

奨学 優

TEL

03 - 0000 - 0000

氏名

ショウガク カズミ

住所

〒 162 - 0845

東京都新宿区市谷本村町10-7

(自署)

奨学 和実

TEL

03 - 0000 - 0000

国内在学(出身)学校 (高卒認定合格者等は記入不要)

学校名

日本学生支援専門学校

学部・学科

外国語学科

学種等※

① 大学

② 短期大学

③ 専修学校(専門課程)

④ 高等専門学校

⑤ 高等専門学校3年次

卒業(修了)年月※

(西暦) 2022 年 3 月

① 卒業(修了)

② 卒業(修了)見込

③ 退学見込

高卒認定合格者等のみ記入※

① 合格:

年 月

② 科目合格:

年 月

③ 出願済:

年 月

海外入学(編入)予定学校

学校名 (日本語名)

Aコミュニティカレッジ

学校名 (英語名)

A Community College

学部・学科 (英語名)

Transfer Course

国・地域名

アメリカ

入学形態※

① 入学(1年次)

② 2年次編入

③ 3年次編入

④ 4年次編入

中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入。

奨学金申込情報※

希望奨学金額

② 3万円

③ 4万円

④ 5万円

⑤ 6万円

⑥ 7万円

⑦ 8万円

⑧ 9万円

⑨ 10万円

⑩ 11万円

⑪ 12万円

※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。

入学時特別増額貸与奨学金を

① 希望する (10万円・20万円・30万円・40万円・50万円)

② 希望しない

利率の算定方法は

① 利率固定方式

② 利率見直し方式

履歴情報 (これまでに日本学生支援機構の奨学金の貸与・給付を受けたことがある人は、すべての奨学生番号を記入してください)

奨学生番号

① 820-08-000000

②

連帯保証人

氏名

フリガナ ショウガク マサル

続柄

父

生年月日

(西暦) 1972 年 2 月 5 日

住所

〒 162 - 0845

東京都新宿区市谷本村町10-7

電話番号(自宅)

03 (0000) 0000 □なし

携帯電話番号

080 (0000) 0000 □なし

勤務先

(株)奨学企画

□ 無職

勤務先電話番号

03-1111-0000

保証人

氏名

フリガナ キコウ アキコ

続柄

おば

生年月日

(西暦) 1974 年 4 月 6 日

住所

〒 135 - 8630

東京都江東区青海2-2-1

電話番号(自宅)

03 (1111) 0000 □なし

携帯電話番号

090 (0000) 1111 □なし

勤務先

□ 無職

勤務先電話番号

記入日を記入。

日本国籍の場合は未記入で可。

連帯保証人は、原則として「様式B」「確認書」に記入した「国内連絡者(父又は母)」と同一人。

例【同一生計の家族（6人）】

奨学 優（続柄：父、会社員）・・・生計維持者A
奨学 和実（続柄：母、無職・無収入）・・・生計維持者B
奨学 大（続柄：兄、大学生）
奨学 まなぶ（本人）
奨学 花（続柄：妹、中学生）
奨学 祖母子（続柄：祖母）

【生計維持者（A：父、B：母）の収入金額】

①生計維持者A 収入金額合計	②生計維持者A 所得金額合計
A 412万円	A 0万円
③生計維持者B 収入金額合計	④生計維持者B 所得金額合計
B 0万円	B 0万円

※【様式D】「家計状況申告書」より

【様式D】「家計状況申告書」を作成後に
申込書裏面「同一生計の家族欄」を記入。
【様式D】「家計状況申告書」作成の仕方と、
必要な証明書類については、「貸与奨学金案内」
30～37ページを参照。

【生計維持者A（父）の収入金額】

申込時点の収入・状況	あてはまる	あてはまらない	必要な証明書類	証明書類に記載の金額	計算	収入	所得
1. 給与を受けている 1-1. 2020年1月1日以前から同じ勤務先・雇用形態	A ☒	☐	令和3年度所得証明書のコピー ※「給与収入金額（控除前の金額）」を記入	年額 A 4,000,000円	→ 転記	A 4,000,000円	
8. 公的手当 児童手当	A ☒	☐	申込時点で受給している金額が記載された通知書等のコピー（受給証明書のコピーも可）	月額 A 10,000円	×12	A 120,000円	

【生計維持者B（母）の収入金額】

申込時点の収入・状況	あてはまる	あてはまらない	必要な証明書類	証明書類に記載の金額	計算	収入	所得
9. 無収入 9-1. 2020年1月1日以前から無収入	B ☒	☐	令和3年度所得証明書又は非課税証明書のコピー	年額 →		B 0円	

生計維持者（父母）の収入金額欄、所得金額欄は、【様式D】「家計状況申告書」（上図参照）に記入したそれぞれの合計金額を転記。

転記

生計維持者A（父）
収入金額：給与収入400万円＋児童手当12万円＝412万円
所得金額（営業・農業・不動産等）：0円

記入例

同一生計の家族	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額	所得金額
	就学者（本人を除く）	父	奨学 優	49	給与・自営・その他	412万円	0万円
		母	奨学 和実	45	給与・自営・その他	0万円	0万円
		祖母	奨学 祖母子	85	給与・自営・その他		
					給与・自営・その他		
					給与・自営・その他		
	就学者（本人を除く）	兄	奨学 大		小・中・高・高専（1～3年次）・高専（4年次以上） 専修（高等）・専修（専門）・大学		自宅外
		妹	奨学 花		小・中・高・高専（1～3年次）・高専（4年次以上） 専修（高等）・専修（専門）・大学		自宅 自宅外
					小・中・高・高専（1～3年次）・高専（4年次以上） 専修（高等）・専修（専門）・大学		自宅 自宅外
					小・中・高・高専（1～3年次）・高専（4年次以上） 専修（高等）・専修（専門）・大学		自宅 自宅外
特別控除額	世帯人数（本人含む）	6人	就学者人数（本人・就学前の弟妹含む）	3人			
	ア. 本人の就学者控除				（一律74万円）	74万円	
	イ. 母子・父子世帯				（一律99万円）		
	ウ. 障がい者のいる世帯				一人につき99万円	99万円	
	エ. 生計維持者が別居				71万円限度、実費		
	オ. 長期療養者のいる世帯				（実費）		
家庭事情	カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯				（実費）		
	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。生計維持者を「父又は母のいずれか1人」、「申込者本人1人（独立生計）」又は、「父母、申込者本人以外の1人」としている場合は、その事情を詳しく説明してください。						

生計維持者B（母）
※無職・無収入であっても、父母ともにいる場合は2人ともが生計維持者
※0円でも記入が必要（証明書類の提出も必要）

上記の同一生計の家族（5人）に、まなぶ（本人）を加えた人数を記入。

まなぶ（本人）、大（大学生の兄）、花（中学生の妹）の3人

生計維持者が「父母2人」とならない場合は、その事情について記入必須。

特別控除（ウ・カ）を希望する場合は、控除する額の証明書の提出が必要（貸与奨学金案内）38～41ページ参照